

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2010年10週 (3月2週3/8~3/14)

2010年2月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

感染性胃腸炎

インフルエンザ

RSウイルス感染症

届出基準の変更について(急性灰白髄炎)

病原体検出情報

定点医療機関コメント

マイコプラズマ、溶連菌感染症、水痘、

感染性胃腸炎、インフルエンザ、RSウイルス 等

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(33)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、デング熱(1)、アメーバ赤痢(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(2)、後天性免疫不全症候群(1)、梅毒(1)

2010年2月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

感染性胃腸炎; 津島保健所警報レベル(定点当たり20.0以上)

トピックス

感染性胃腸炎 (図1)

10週の定点当たり報告数は10.1、前週比1.1倍(1,714人、1,835人)です。

インフルエンザ (図2)

10週の定点当たり報告数は0.45、前週比0.7倍(総数128人、88人)です。

<速報> 2010年3月15日搬入された検体から今シーズン初めて季節性インフルエンザウイルス遺伝子(B型)が検出されました。

【参考ページ】

1. 2009/10・2008/09シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infibunri08_09.html

2. オセルタミビル(タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスについて(ネットあいち)

2010年2月23日発表/2009年12月18日発表

<http://www.pref.aichi.jp/0000029039.html>

3. 保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

4. 新型インフルエンザに関する報道発表資料(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/houdou.html>

RSウイルス感染症

10週の定点当たり報告数は0.45、前週比0.8倍(102人、81人)です。

【参考ページ】 RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

届出基準の変更について(急性灰白髄炎)

「急性灰白髄炎」(ポリオ)の届出基準の一部が変更されました(届出様式は従来どおりです)。詳しくは以下のページをご覧ください。

「感染症法に基づく医師から都道府県知事等への届出基準」(2010年3月11日改正)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun100311.pdf>

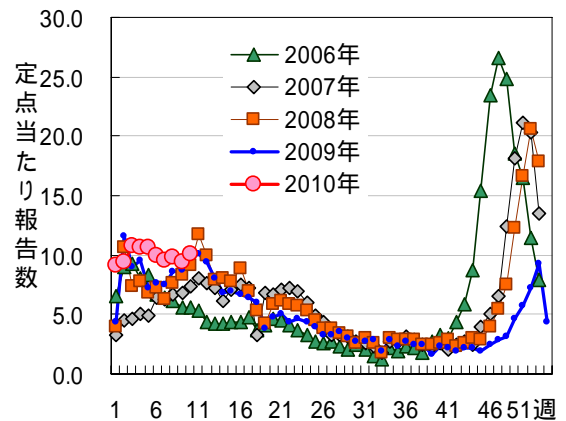


図1 感染性胃腸炎

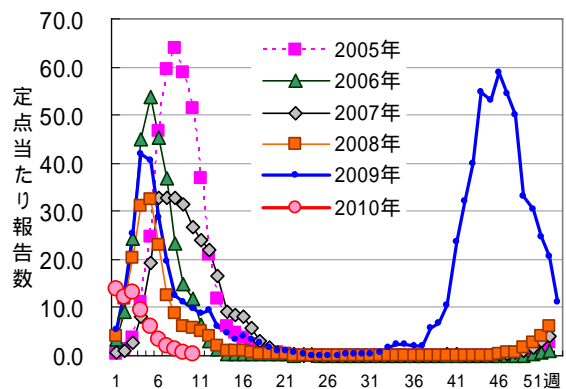


図2 インフルエンザ定点当たり報告数の推移
[2009年31週から新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告]

インフルエンザは 2008/2009 シーズン、()内は 2009/10 シーズンの検査結果です。

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎 脳症	インフルエンザ
患者数	271	32	73	16	47	28	32	355(428)
PV-2	3							
PV-3	1							
CV-A2			1					
CV-A6		6	17				1	
CV-A10	3	5	21	1				
CV-A16	1	4						
EV-71		6						
CV-A9						2		
CV-B3			1			2		
CV-B4						4		
E-9			3					
E-11							1	
E-18		1						
HPeV-1	3							
FluAH1pdm							1	75(319)
FluAH1							1	126(0)
FluAH3								54(0)
FluB								28(0)
Rota A G1	14							
Rota A G3	5							
NV-G	1							
NV-G	79							
SV	1							
AstV	1							
Ad-1	1		1	2				1
Ad-2	8		2	1				1(1)
Ad-3	9			7	4		3	2
Ad-5	2			1				1
Ad-8					4			
Ad-31	1							
Ad-41	11							
Ad-54				1	1			
検査中	2							0(57)
陰性	135	10	27	3	38	20	25	68(51)

略:ウイルス名(他の略名)

Ad : アデノウイルス

FluAH1 : A 型インフルエンザウイルス

NV : ノロウイルス

AstV : アストロウイルス

FluAH1pdm : 新型インフルエンザウイルス

PV : ポリオウイルス

CV : コクサッキーウイルス(Cox.)

FluAH3 : A 香港型インフルエンザウイルス

Rota A : A 群ロタウイルス

E : エコーウイルス

FluB : B 型インフルエンザウイルス

SV : サボウイルス

EV-71: エンテロウイルス 71 型

HPeV-1 : ヒトパレコウイルス 1 型

関連ページ

1) 「疾患別ウイルス検出情報」 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2) 「2009/10・2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

全年令層にわたり感染性胃腸炎流行。
【一宮市 後藤小児科】
マイコプラズマ感染 1歳女、11歳女。
【一宮市 ささい小児科】
インフルエンザ12歳女B型、15歳男A型です。
【一宮市 水野医院】
インフルエンザいませんでした
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
嘔吐を主訴とする胃腸炎が目立ちます。ノロウイルスでしょうか。
水様下痢や病原性大腸菌も見られます。
ヘルパンギーナがありました。
【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎の流行続いています。
インフルエンザB 1名（7歳女）。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
水痘散発。
RSもおちついています。
インフルエンザは全くありません。
【岩倉市 なかよしこどもクリニック】
感染性胃腸炎が未だ見られます。家族内感染もあります。
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

感染性胃腸炎、溶連菌感染症は多くみられます。
インフルエンザA型は4名。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
溶連菌感染症が少し目立ちました。
その他、水痘、流行性耳下腺炎等。
インフルエンザA型成人で1名。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザなし。
感染性胃腸炎続発。
RSV感染症少々。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
RSウイルス感染症、A型インフルエンザともに減少しています。
【春日井市 春日井市民病院】
1歳男アデノウイルス陽性。
【春日井市 竹内医院】
RS感染やや減少、水痘増加、感染性胃腸炎はやや減少しています。
【小牧市 志水こどもクリニック】

あいかわらず感染性胃腸炎が多く水痘もふえてきました。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
依然として胃腸炎が多いです。
今週はインフルエンザは見られませんでした。
【春日井市 かがわこどもクリニック】
インフルエンザB型 5名。
【半田市 半田市立半田病院】
B型インフルエンザ 16名。
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】
感染性胃腸炎散発。
【南知多町 医療法人大岩医院】
RSウイルス感染症 3名（0歳児）
インフルエンザは2週以上でていません。
ヘルペス歯肉口内炎 1名（1歳）。
【東海市 もしもしこどもクリニック】
水痘の患者さんが増えつつあります。
【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

Strep A (+) 6歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザB型 6名
マイコプラズマ 6名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ陽性B型 1名
【豊田市 厚生連足助病院】
インフルエンザは0例でした。
感染症胃腸炎が目立つ。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
5歳女 マイコプラズマ感染。
10か月女 病原性大腸菌VT(-)。
その他特記すべきことはありません。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
アデノ(+) 1歳女、2歳男。
【岡崎市 にいのみ小児科】

6歳女 病原大腸菌O111 VT(-)。
3歳男 病原大腸菌O125。
A型インフルエンザ1名。
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
感染性胃腸炎、水痘目立ちます。
【碧南市 永井小児科クリニック】
インフルエンザはA。
マイコ気管支炎4名(8歳、9歳、13歳、5歳)。
【刈谷市 田和小児科医院】
マイコプラズマ感染多い。
【知立市 宮谷クリニック】
感染性胃腸炎が再び増加してきました。
【西尾市 やすい小児科】

東三河地区

インフルエンザ陰性、RSウイルス感染症陰性の熱と咳が続くウイルス感染症と思われる病気が乳幼児を中心に流行しています。

インフルエンザの児が0人になりました。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

カンピロバクター 8歳女。

【豊川市 ささき小児科】

マイコプラズマ 8歳女、2歳男、2歳男、合計3人。

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2010年3月17日現在

～ 三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun100311.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2010年10週報告数			2010年累計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	10		1	147	50	20
豊田市	1			12	3	2
豊橋市	1		1	14	5	2
岡崎市	2	1	1	17	6	1
一宮	2	1		24	6	3
瀬戸	5		3	24	3	6
半田	1			12	1	1
春日井	4	1		27	5	6
豊川				12	4	2
津島				19	7	4
西尾				7	2	
江南	3	1		10	2	2
新城				2	1	
知多	4	1		21	11	3
師勝				6	1	
衣浦東部				14	6	
合計	33	5	6	368	113	52

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	50歳	男	3/6	3/8	3/11	O157、VT1(+)
2	知多	32歳	女	-/-	3/1	3/8	O91、VT1(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）						
デング熱（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	知多	11歳	男	デング熱	インドネシア	
アメーバ赤痢（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	45歳	男	腸管及び腸管外アメーバ症	性的接触	国内
クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型		
1	名古屋市	71歳	女	古典型		
2	瀬戸	70歳	男	古典型		
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	25歳	男	AIDS	性的接触	国内
梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	衣浦東部	22歳	女	早期顕症	性的接触	国内

2010年2月報

(2010年3月12日現在、診断週に基づく集計)

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2009～2010年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2010年2月			2010年 累計 <愛知県全体>	2009年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	70 (7)	48 (5)	118 (12)	268 (31)	2,068 (341)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	7 (0)	0 (0)	7 # (0)	15 (2)	206 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	0	2
	A型肝炎	1	0	1	1	5
	オウム病	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	5
	デング熱	1	0	1	2	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	3	0	3	4	47
五類 (14)	アメーバ赤痢	1	3	4	11	55
	ウイルス性肝炎	0	1	1	1	17
	内訳					
	B型	0	1	1	1	11
	C型	0	0	0	0	6
	急性脳炎	3	0	3	5	35
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	1	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	1	10
	後天性免疫不全症候群	1	8	9	17	86
	内訳					
	無症候性キャリア	1	7	8	10	43
	AIDS	0	1	1	5	32
	その他	0	0	0	2	11
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	1
	梅毒	0	5	5	11	46
	内訳					
	無症候	0	2	2	5	19
	早期顕症	0	2	2	5	26
	晩期顕症	0	1	1	1	1
	先天梅毒	0	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	0	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1
	風しん	0	0	0	1	10
	麻しん	0	0	0	2	29
	総計	89	65	154	340	2,666

#; 0157; 6件、HUS発症1件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2010年2月			2010年 累計	2009年 総計
		愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	74	49	123	272	1,695
	性器ヘルペスウイルス感染症	32	19	51	108	631
	尖圭コンジローマ	13	13	26	42	447
	淋菌感染症	28	30	58	131	692
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	82	5	87	159	1,090
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	18	0	18	29	146
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2010年10週(2010年3月8日～2010年3月14日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県																							
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	81	88	20	226	1,835	262	52	19	101	5	2	100	2	1	0	0	3	3
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	37	12	71	75	17	165	1,273	207	40	14	76	2	1	79	2	1	0	0	3	0
名古屋	70	70	11	15	5	10	13	3	61	562	55	12	5	25	3	1	21						3
尾張東部	9	9	2	3	1	9	6	5	18	51	8		1	3			3						
海部津島	7	7	2	2	1	4		2	20	203	19	6		8			2						
尾張中部	4	4	1	1					14	26	4		2										
尾張西部	16	12	3	4	1	5	8		13	86	13			5	1		6					2	
尾張北部	9	9	2	3	1	13	3	5	13	138	36	9	4	9			13		1				
	6	6	1	2		1	5		11	70	6		2	2		1	5	2					
知多半島	6	6	1	2	1	8	21	1	18	80	12		1	3	1		7						
	7	7	2	2		3			11	61	16	1	1	3			6						
西三河南部	11	7	2	2	1		1		9	46	4	1		12			1						
	13	13	2	4	1	10	4	1	15	183	36	2		11			3						
	5	5	1	2	1		4		5	75	5	1		2			1						
西三河北部	9	9	2	4	1	5	22	3	11	50	7			2			5					1	
東三河南部	12	8	2	4	1	6	1		5	125	22	2	2	5			14						
	9	8	1	2	1	7			2	78	19	18	1	11			13						
東三河北部	2	2			1					1													

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告

愛知県感染症情報

2010年10週(2010年3月8日～2010年3月14日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	71	75	17	165	1,273	207	40	14	76	2	1	79	2	1	0	0	3	0
～6ヶ月	25	1		1	4	4			2									
～12ヶ月	13		1	1	29	9	1		40									
0歳																		
1歳	17	2	4	3	99	20	6	2	33			6						
2歳	11	2	4	6	90	35	11		1			6						
3歳	3	2	2	13	104	31	7	1				12						
4歳	1	8	1	25	163	45	7	2				13					2	
5歳		6	3	29	143	28	3	5			1	16						
6歳	1	17		26	132	20	1	2				8						
7歳		3	2	24	82	4	2					7						
8歳		1		4	71	4	1	1				2						
9歳		7		7	61	3						1						
5歳～9歳																	1	
10歳～14歳		16		18	119	4						6						
15歳～19歳		1		1	15													
20歳～				7	161		1	1		2		2						
20歳～29歳		2																
30歳～39歳		5											1	1				
40歳～49歳		1											1					
50歳～59歳																		
60歳～69歳																		
70歳～																		
70歳～79歳																		
80歳以上		1																

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告